

## 平成 29 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座・教授
氏名 Name	中川 裕之
専門分野 Academic Field	ドイツ語学/言語学、外国語教育、地域研究

主たる研究テーマ Principal Research Subject	多言語多文化国家スイスにおけるレト・ロマン語とドイツ語をめぐる言語文化 社会研究
<p>平成 27 年度から平成 29 年度を事業期間とする科学研究費基盤研究 (C)「スイスにおけるレト・ロマン語の社会言語学的・異文化コミュニケーション的研究」の代表者として教育研究に従事しているが、本年度は大言語のドイツ語に対してスイスの小言語——レト・ロマン語のスールシルヴァ方言地域——と、談話分析から構築された異文化間コミュニケーション的ディスコース理論に基づいて、実証的観点からの文献学的研究ならびに言語共同体の実地調査研究を実施できた。本年 6 月にはその成果の一部としてスイス文学会編『スイス文学・芸術論集 小さな国の多様な世界』(鳥影社)において「多言語グラウビュンデンのレト・ロマン語方言の書きことば成立の歴史—識字教育につながる聖書翻訳とその文学的開花例としての抒情詩」を刊行発表することができた。また平成 25 年度から平成 28 年度にかけて実績を重ねているプロジェクトに「言語社会共同研究プロジェクト」があるが、平成 29 年度も研究推進経費による研究成果刊行助成に応募・採択されたため、これを統括推進し研究報告書『ドイツ語をめぐる言語社会研究』第 5 号としてまとめ刊行した。これは箕面の言語文化研究科言語社会専攻と豊中の言語文化専攻のドイツ語部会に所属する専任教員による研究論文集であり学内横断的かつ自律的に進めているユニークな試みの一つである。本論文集はドイツやスイス、ルクセンブルクに関わる言語をめぐる論文や翻訳からなっておりマイノリティ言語研究の質の向上に寄与すると考える。このように国内外の関連する言語関連研究者たちと議論や意見交換、研究発表を重ねることによって相互理解を深め、共生可能で寛容な社会の実現を目指す多言語多文化論の基盤整備ができた。</p>	